

池田 博一  
榎本はじめ  
大沢たかし  
小池たくみ  
椿 くにじ  
戸枝 大幸  
永沼かつゆき

名取ひであき  
前田ゆきお  
山崎 満  
やまだ加奈子  
渡辺かつひろ  
(50音順)

自民党議員団

北区議会自由民主党議員団

# 北区自民だより

北区議会報告 平成29年新年号(号外)

発行  
北区議会自由民主党議員団  
北区王子本町1-15-22  
北区役所(3908)1111番(代)  
議員団控室(内線)3011・3021  
FAX(3905)7650番

Lib Dems  
Liberal Democratic Party of Kitaku

# 北区の財政を中心に質疑

## 平成27年度決算委員会での永沼かつゆき議員の発言要旨

### 平成27年度決算を振り返って

**永沼かつゆき質問** 平成27年度を振り返って、どのような一年でしたか、課題と今後を含めて総括をお伺いします。

**担当課長** 平成27年度は、区長就任4期目の初年度であり、「北区基本計画2015」に基づき「人が輝く」、「まちが輝く」、「未来が輝く」をコンセプトに、誰もがいきいきと暮らせる「ふるさと北区」の実現のため10年後の北区を見据えた取り組みが力強くスタートする年(とし)でした。

**永沼** 具体的には一……

**担当課長** 「地震・水害に強い安全・安心のまちづくり」では、防災行政無線のデジタル化を進め、難聴地域対策として拡声子局(こきょく)の増設を行い、災害時の情報通信基盤の強化を図りました。

「長生きするなら北区が一番」では保育所の待機児童解消に努めたほか、小学生3、4年生対象の学力フォローアップ教室、中学生の進路目標の実現に向け夢サポート教室のモデル実施を推進しました。

「まちづくりの推進」では、王子駅周辺のまちづくりブランドデザインの策定検討や、十条駅西口地区市街地再開発の推進支援に取り組むとともに、(仮称)赤羽台のもり公園用地の取得、「東京五輪・パラリンピック開催を見据えた北区の発信」では、スポーツ施設のバリアフリー化整備、トップアスリートのまち・北区PRプロジェクト、障害者スポーツ交流イベント、北区版スポーツアカデミー事業などを進めました。

### 歳入・歳出決算額は過去最高

**永沼** 27年度の決算額が過去最高とのことだが、財政面から見て、ここ数年と比較してどのような一年だったでしょうか。

**担当課長** ここ数年を比較しますとまず歳入では、納税義務者数の増加や徴収対策の効果等により、特別区税が対前年度比3.0%、4年連続の増となり、地方消費税交付金が地方消費税率引上げの影響が平年度化したことによ

り、対前年比75.5%増と大幅に伸びました。旧桜田中学校の売却収入や(仮称)赤羽台のもり公園用地取得に伴う都市計画交付金などが大きく増加しています。

また歳出においては、赤羽台のもり公園公園用地の取得に加え、旧北園小学校跡地のシルバーピア建設、稲付公園の再整備、学校の改築、改修や施設



28年度から稲付公園の整備、29年完成

整備、新赤羽台保育園のURからの取得をはじめ、投資的経費が前年度比87%増となり、歳出全体を占める割合が5年ぶりに10%を超えました。

このように、平成27年度決算は歳入、歳出とも大きく伸びていますが、基幹的歳入である特別区税の増や地方消費税の交付金の大幅増により、経常収支比率は3年連続で減少している状況にあります。

### 補正予算を5回も編成した理由

**永沼** 歳入・歳出決算が大きく伸びたが、当初予算に加えて補正予算を5回も編成したことも影響していると思います。当初予算をしっかりと査定しておけば5回も編成しなくてもよかつたと思うが如何ですか。あわせて予備費の活用も多いと思うが、その理由を示して下さい。

**担当課長** 当初予算については、景気の先行きや国・都の動向に注意を払いつつ、必要な事業費を見積もったうえで編成作業を行ってまいりました。補正予算は当初事業の執行見込みに実績の乖離が見込められることが明らかになった場合など、迅速に対応する必要があったことから編成を行ってまいりました。

予備費については、公共施設の設備の故障への対応や、風水害等の復旧作業への対応、そして予算が計上していない選挙への対応など、事前に予測することが難しく、かつ緊急的な対応が

認められる場合に行っており、平成27年度は約8700万円の充用ですが、本年度は都知事選への対応もあり、すでに2億8000万円を充用しています。

### 特定財源の増額も必要

**永沼** 一般財源の伸びが他区より少ないであれば、国庫支出金や都支出金など特定財源の増額を図ることも必要と思いますが如何ですか。

**担当課長** 平成27年度決算における歳入に占める国庫支出金の割合17.1%、都支出金の割合は6.5%ですが、金額ベースでは、合わせて前年度比37億円の増加となっています。

この要因は、大きなものとして(仮称)赤羽台のもり公園や区画街路3号線の用地取得にかかる国の社会資本整備総合交付金と都市計画交付金で約25億円を占めており、その他、国民健康保険の制度改正に伴う保険基盤安定負担金の増や、保育所待機児童解消にかかる補助金の増などがあげられます。これらの国や都の補助金については、区単独では賅い切れない財政需要の対応や公共施設整備事業を計画的・重点的に実施できるなどの効果が期待できる一方、国の縦割行政による事業間の調整が取りにくく、申請事務等の手続きが煩雑という課題もあります。今後、「北区経営改革プラン2015」の中に「補助金活用のための新たな庁内情報共有体制の整備」を検討項目として新たに追加したので、情報共有の方法をしっかりと検討し、多くの補助金が確保できるよう努力してまいります。

### 保育園待機児童解消への努力

**永沼** 保育園待機児童解消への努力は理解できるが、今後の見通しは……

**担当課長** 4月時点で待機児童は232名あります。現在の目標としては認可施設だけでなく、区の補助する認証保育所等の認可外施設も含めて、保育園入所希望に対応できるよう整備を進めています。ただし待機児童対策は施設整備だけでなく、育児休業の十分な取得をはじめとするワークライフバランスの推進という視点からの取り組みも重要と考えています。